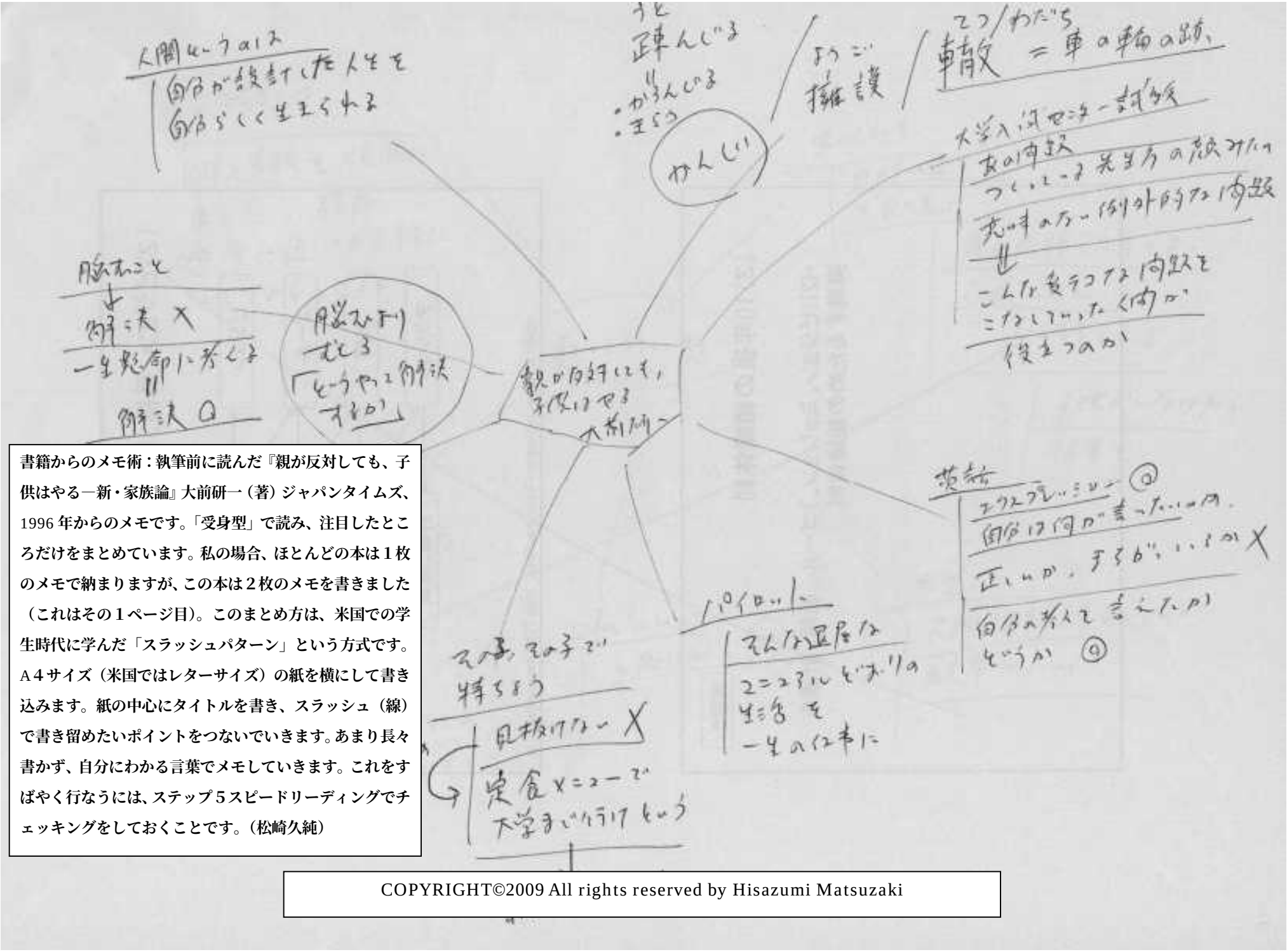

書籍からのメモ術：執筆前に読んだ『親が反対しても、子供はやる―新・家族論』大前研一（著）ジャパンタイムズ、1996 年からのメモです。「受身型」で読み、注目したところだけをまとめています。私の場合、ほとんどの本は１枚のメモで納まりますが、この本は２枚のメモを書きました（これはその１ページ目）。このまとめ方は、米国での学生時代に学んだ「スラッシュパターン」という方式です。A４サイズ（米国ではレターサイズ）の紙を横にして書き込みます。紙の中心にタイトルを書き、スラッシュ（線）で書き留めたいポイントをつないでいきます。あまり長々書かず、自分にわかる言葉でメモしていきます。これをすばやく行なうには、ステップ５スピードリーディングでチェッキングをしておくことです。（松崎久純）

COPYRIGHT©2009 All rights reserved by Hisazumi Matsuzaki